
ひきこもリ्यूへー 短編 ～ひきこもり四次元に行きたいの巻～

USAVICH

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひきこもりユーヘー 短編 くひきこもり四次元に行きたいの巻

【Nコード】

N52450

【作者名】

USAVICH

【あらすじ】

何を血迷ったのかひきこもりのユーヘーは四次元に行くとか言い出しました。とうとうおかしくなってしまったのか？ いや、元からだ！

（前書き）

あまりにもひまだったので適当に書きました。
だいぶくだらないのでそれこそ暇つぶしにどうぞ。
ちょうど500文字に仕上げたのがポイントです。

昔々あるところに一人のひきこもりがいました。

名をリユーヘー乃介佐絵門太郎サントマリアといました。

長くてうつとおしいため二次元の嫁達にはリユーヘーと呼ばせていました。

ある日いつものようにリユーヘーが二次元の嫁達といちゃいちゃしている

リユーヘーはあることに気がつきました。
というのも

「3次元の人間たちは皆須らく二次元を愛している　ということは
二次元の人たちは三次元を愛しているに違いない」

二次元空間の存在をそもそも履き違えていたリユーヘーは
自分も四次元に行けば皆の好意的になると考え、四次元に行くこ
とを決意しました。

その日からリユーヘーは四次元に行くため筋力トレーニングを行い
(なぜ?)筋力を鍛えに鍛えました。

その間実に3年の歳月をかけて無駄に腹筋とか腕立て伏せとかやつ
てました。

そして迎えた旅立ちの当日……。

もはや原型がなんなのかわからない人間かどうかも怪しいくらいに
ムキムキになった

リユーヘーは愛おしい二次元の嫁たちに別れを告げ、リユーヘーは
四次元へと向かうべく学習機の引き出しの中に入り込もうとしまし
た。しかしあまりにもムキムキになりすぎたせいで引き出しにはは
いりませんでした。
めでたしめでたし

（後書き）

ご愛読ありがとうございました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5245o/>

ひきこもりユーハー 短編 ~ひきこもり四次元に行きたいの巻~

2010年10月26日16時17分発行